

英語 4 : 304-4-DP1・DP2・DP6

年次	学期	学則科目責任者
4年次	後学期	4年次クラス担任主任

学修目標 (G I O) と単位数	<ul style="list-style-type: none"> ・単位数：1 ・学修目標 (G I O)：国内外の歯科医療の現状を理解するために、歯科医学に関わる英語を習得する。
担当教員	*宇都宮 忠彦、*根岸 慎一、*山本 敏樹、吉垣 純子、*清水 武彦、*小見山 道、*山口 秀紀、*有川 量崇、*浅野 隆、*中山 洋平、*田中 茂男、*飯田 崇、*多田 充裕、*續橋 治、*田中 陽子、*岡部 達、*稲原 裕也、*鈴木 到、*深津 晶、*小峯 千明、*下坂 典立
教科書	各科目の教科書、配布プリントを使用する。 各科目の指定教科書については講義担当者に確認すること。 A A 各科目の教科書、配布プリントを使用する。 各科目の指定教科書については講義担当者に確認すること。 A A
評価方法 (E V)	講義点：2回行う平常試験 (50%×2回=100%) を講義点とする。 最終評価は、講義点の成績により決定する。 平常試験に対する再試験は行わないが、最終評価が合格点 (60点) に達しない場合、全範囲についての再試験を実施することがある。 ただし、講義を1/5以上欠席した場合、最終評価点は0-60点とし、再試験の受験資格を与えない。
学生へのメッセージ オフィスアワー	4年次で英語を学ぶ目的は、英語1～3とほぼ同じであり、同一線上のものです。国際的な立場から歯科医療の現状を理解し、活躍できる基本的能力を身につけることを目的とします。更に、国内においても外国籍の患者さんが多い今日、日常の歯科医療の場における英語の重要度は増えています。したがって、近年の歯科医師国家試験においても歯科医学に関連した英語が出題されています。このような背景から、歯科医学英語について理解できるよう積極的に取り組んでください。 授業には辞書 (電子辞書も可) を持参してください。 *担当教員：歯科医師の実務経験を活かし、歯科医学英語および世界の歯科医療の現状について説明します。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2023/09/13 (水) 2時限 10:40～12:10	障害者歯科学の英語	<p>【授業の一般目標】 歯科医学英語を理解するために、障害者歯科学に関わる英単語を学修し、関連する英語情報に対する読解力を身につける。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 障害者歯科学に関する専門用語についての英単語を説明できる。 2. 障害者歯科学に関する専門用語についての英語の解説文を説明できる。 3. ※歯科医師の実務経験を活かし、歯科医学の総合的知識を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：障害者歯科学で学んだ専門用語の英単語を調べておく。 事前学修時間：30分 事後学修項目：授業で提示された英単語・文章を復習する。 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 2 一般教養的事項 ウ 歯科医療に必要な基本的医学英語</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-5 高齢者、障害者、精神・心身医学的疾患 E-5-2) 障害者の歯科治療 ①障害者の身体的、精神的及び心理的特徴を説明できる。 ②障害者の行動調整 (行動管理) と歯科治療に必要な注意点を説明できる。 ③障害者における歯科治療の特殊性を説明できる。 ④障害者の口腔ケア及び口腔衛生指導を説明できる。 ⑤発達期の摂食嚥下障害の診察、評価、診断を説明できる。 ⑥発達期の摂食嚥下障害のリハビリテーションを説明できる。</p>	*田中 陽子
2023/09/20 (水) 2時限 10:40～12:10	歯科矯正学の英語	<p>【授業の一般目標】 歯科医学英語を理解するために、歯科矯正学に関わる英単語を学修し、関連する英語情報に対する読解力を身につける。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科矯正学に関する専門用語についての英単語を説明できる。 2. 歯科矯正学に関する専門用語についての英語の解説文を説明できる。 3. ※歯科医師の実務経験を活かし、歯科医学の総合的知識を説明する。</p>	*根岸 慎一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2023/09/20 (水) 2時限 10:40～12:10	歯科矯正学の英語	<p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯科矯正学で学んだ専門用語の英単語を調べておく。 事前学修時間：30分 事後学修項目：授業で提示された英単語・文章を復習する。 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 12 一般教養的事項 ウ 歯科医療に必要な基本的医学英語</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-4 矯正歯科・小児歯科治療 E-4-1) 不正咬合の治療 ①矯正治療の目的と意義を説明できる。 ②正常咬合の概念と成立・保持条件を説明できる。 ③不正咬合の原因、種類、障害、診察、検査、診断、治療及び予防法を説明できる。 ④矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。 ⑤矯正装置の種類と特徴及び使用目的を説明できる。 ⑥矯正治療によって起こる生体反応を細胞あるいは分子生物学的に説明できる。 ⑦矯正治療によって生じうる医原性障害を挙げ、その予防法と処置を説明できる。</p>	*根岸 慎一
2023/09/27 (水) 2時限 10:40～12:10	高齢者歯科学の英語	<p>【授業の一般目標】 歯科医学英語を理解するために、高齢者歯科学に関わる英単語を学修し、関連する英語情報に対する読解力を身につける。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 高齢者歯科学に関する専門用語についての英単語を説明できる。 2. 高齢者歯科学に関する専門用語についての英語の解説文を説明できる。 3. ※歯科医師の実務経験を活かし、歯科医学の総合的知識を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：高齢者歯科学で学んだ専門用語の英単語を調べておく。 事前学修時間：30分 事後学修項目：授業で提示された英単語・文章を復習する。 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 12 一般教養的事項 ウ 歯科医療に必要な基本的医学英語</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-5 高齢者、障害者、精神・心身医学的疾患 E-5-1) 高齢者の歯科治療 ①高齢者の生理的、心理的及び行動的特徴を説明できる。 ②高齢者に多く見られる疾患及び服用している薬物を説明できる。 ③口腔機能低下の検査と予防法（介護予防を含む）を説明できる。 ④高齢者における口腔健康管理の用具と処置を説明できる。 ⑤高齢者の歯科治療時の全身管理を説明できる。 ⑥要介護高齢者（在宅要介護者を含む）の歯科治療時の注意点を説明できる。 ⑦在宅医療（訪問歯科診療を含む）を説明できる。 ⑧摂食嚥下障害の診察、検査及び診断を説明できる。 ⑨摂食嚥下リハビリテーションを説明できる。 ⑩栄養管理や食形態の調整を説明できる。</p>	*浅野 隆 *小見山 道
2023/10/11 (水) 2時限 10:40～12:10	歯科保存学2(歯内療法学)の英語	<p>【授業の一般目標】 歯科医学英語を理解するために、歯科保存学2(歯内療法学)に関わる英単語を学修し、関連する英語情報に対する読解力を身につける。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯内療法学に関する専門用語についての英単語を説明できる。 2. 歯内療法学に関する専門用語についての英語の解説文を説明できる。 3. ※歯科医師の実務経験を活かし、歯科医学の総合的知識を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯内療法学で学んだ専門用語の英単語を調べておく。 事前学修時間：30分 事後学修項目：授業で提示された英単語・文章を復習する。 事後学修時間：30分</p>	*岡部 達

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2023/10/11 (水) 2時限 10:40～12:10	歯科保存学2(歯内療法学)の英語	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 12 一般教養的事項 ウ 歯科医療に必要な基本的医学英語</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ②歯髄・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法(直接覆髄法を含む)を説明できる(疾患の細胞レベルでの説明を含む)。 ②根管充填の目的、時期及び方法を説明できる。 ③歯髄・根尖性歯周疾患の治療時における合併症(偶発症)について、種類、処置及び予防を説明できる。 ④歯髄・根尖性歯周疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。 ⑤外科的歯内療法(手術用実体顕微鏡の利用を含む)の種類と適応を説明できる。 ⑥失活歯の変色の原因、種類及び処置を説明できる。 ⑦歯根吸収の原因、症状、診断及び処置を説明できる。</p>	*岡部 達
2023/10/18 (水) 2時限 10:40～12:10	歯科保存学2(歯周治療学)の英語	<p>【授業の一般目標】 歯科医学英語を理解するために、歯科保存学2(歯周治療学)に関わる英単語を学修し、関連する英語情報に対する読解力を身につける。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 歯周治療学に関する専門用語についての英単語を説明できる。 2. 歯周治療学に関する専門用語についての英語の解説文を説明できる。 3. ※歯科医師の実務経験を活かし、歯科医学の総合的知識を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯周治療学で学んだ専門用語の英単語を調べておく。 事前学修時間：30分 事後学修項目：授業で提示された英単語・文章を復習する。 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 12 一般教養的事項 ウ 歯科医療に必要な基本的医学英語</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ③歯周疾患の病因と病態を説明できる。 ④口腔細菌、プラーク(口腔バイオフィルム)及び歯石を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療 ①歯周疾患の症状及び全身疾患との関連を説明できる(疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む)。 ②歯周疾患の検査法、診断及び治療方針(メンテナンス法を含む)を説明できる。 ③歯周治療の術式と適応症を説明できる。 ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。 ⑤歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。</p>	*中山 洋平
2023/10/25 (水) 2時限 10:40～12:10	口腔顎顔面外科学の英語	<p>【授業の一般目標】 歯科医学英語を理解するために、口腔顎顔面外科学に関わる英単語を学修し、関連する英語情報に対する読解力を身につける。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 口腔顎顔面外科学に関する専門用語についての英単語を説明できる。 2. 口腔顎顔面外科学に関する専門用語についての英語の解説文を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：口腔顎顔面外科学で学んだ専門用語の英単語を調べておく。 事前学修時間：30分 事後学修項目：授業で提示された英単語・文章を復習する。 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p>	*田中 茂男

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2023/10/25 (水) 2時限 10:40～12:10	口腔顎顔面外科学の英語	<p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 12 一般教養の事項 ウ 歯科医療に必要な基本的医学英語</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4 口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4-(1) 先天異常及び後天異常 ②口唇裂・口蓋裂の病態と治療方針を説明できる。 E-2-4-(2) 外傷 ④顎顔面骨折の原因、種類、症状、診断法及び治療法を説明できる。 E-2-4-(3) 炎症 ⑥主な炎症 (舌炎、口唇炎、口底炎、智歯周囲炎、歯槽骨炎、顎骨骨膜炎、顎骨周囲炎、下顎骨骨髓炎、蜂窩織炎、歯性上顎洞炎等) の症状と治療法を説明できる。 E-2-4-(4) 口腔粘膜疾患 ②水泡、紅斑、びらん、潰瘍、白斑、色素沈着等を主徴とする口腔粘膜疾患の症状と治療法を説明できる。 E-2-4-(5) 嚢胞 ②口腔・顎顔面領域に発生する嚢胞の症状、診断法及び治療法を説明できる。 E-2-4-(6) 腫瘍及び腫瘍類似疾患 ②口腔・顎顔面領域に発生する良性腫瘍の一般的な症状、診断法 (細胞診、組織診、画像診断) 及び治療法を説明できる。 ③口腔・顎顔面領域の悪性腫瘍の一般的な症状、診断法 (細胞診、組織診、画像診断) 及び治療法を説明できる。 E-2-4-(8) 唾液腺疾患 ③唾液腺炎の種類、特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。 E-2-4-(9) 神経疾患 ③顔面神経麻痺の原因、症状及び治療法を説明できる。 ④三叉神経麻痺 (感覚麻痺、運動麻痺) の原因、症状及び治療法を説明できる。</p>	* 田中 茂男
2023/11/01 (水) 2時限 10:40～12:10	総合医学(内科学・頭頸部外科学)の英語	<p>【授業の一般目標】 歯科医学英語を理解するために、内科学・頭頸部外科学に関わる英単語を学修し、関連する英語情報に対する読解力を身につける。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 内科学・頭頸部外科学に関する専門用語についての英単語を説明できる。 2. 内科学・頭頸部外科学に関する専門用語についての英語の解説文を説明できる。 3. 医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 4. ※医師の実務経験を活かし、医学の総合的知識を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：内科学・頭頸部外科学で学んだ専門用語の英単語を調べておく。 事前学修時間：30分 事後学修項目：授業で提示された英単語・文章を復習する。 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 12 一般教養の事項 ウ 歯科医療に必要な基本的医学英語</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1 コミュニケーション ③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 E 臨床歯学 E-6 医師と連携するために必要な医学的知識 ①全身の症候・病態を説明できる。 ②医科疾患合併患者の歯科治療時の注意点を説明できる。</p>	* 山本 敏樹 * 稲原 裕也
2023/11/08 (水) 2時限 10:40～12:10	平常試験①、解説	<p>【授業の一般目標】 歯科医学英語を理解するために、臨床歯科医学に関連する英語情報に対する読解力を身につける。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科保存学1 (保存修復学) に関する専門用語についての英単語、解説文を説明できる。 2. 障害者歯科学に関する専門用語についての英単語、解説文を説明できる。 3. 歯科矯正学に関する専門用語についての英単語、解説文を説明できる。 4. 高齢者歯科学に関する専門用語についての英単語、解説文を説明できる。 5. 歯科保存学2 (歯内療法学) に関する専門用語についての英単語、解説文を説明できる。 6. 歯科保存学2 (歯周治療学) に関する専門用語についての英単語、解説文を説明できる。</p>	* 宇都宮 忠彦 * 田中 陽子 * 根岸 慎一 * 浅野 隆 * 岡部 達 * 中山 洋平 * 田中 茂男 * 小見山 道 * 山本 敏樹 * 稲原 裕也

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2023/11/08 (水) 2時限 10:40～12:10	平常試験①、解説	<p>7. 口腔顎顔面外科学に関する専門用語についての英単語、解説文を説明できる。 8. 総合医学(内科学、頭頸部外科学)に関する専門用語についての英単語、解説文を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：これまで(第1～7回で)学修してきた講義項目について英単語リストおよび英文について復習する。 事前学修時間：3時間 事後学修項目：試験内容を復習する。 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：試験問題用紙配布</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 302教室</p>	<p>*宇都宮 忠彦 *田中 陽子 *根岸 慎一 *浅野 隆 *岡部 達 *中山 洋平 *田中 茂男 *小見山 道 *山本 敏樹 *稲原 裕也</p>
2023/11/15 (水) 2時限 10:40～12:10	歯科補綴学2(クラウンブリッジ補綴学)の英語	<p>【授業の一般目標】 歯科医学英語を理解するために、歯科補綴学2(クラウンブリッジ補綴学)に関わる英単語を学修し、関連する英語情報に対する読解力を身につける。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. クラウンブリッジ補綴学に関する専門用語について列挙し、説明できる。 2. クラウンブリッジ補綴学に関する英語論文または解説文を説明できる。 3. ※歯科医師の実務経験を活かし、歯科医学の総合的知識を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯科補綴学2(クラウンブリッジ補綴学)で学んだ専門用語の英単語を調べておく。 事前学修時間：30分 事後学修項目：授業で提示された英単語・文章を復習する。 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有：Google formを使った演習 学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 12 一般教養的事項 ウ 歯科医療に必要な基本的医学英語</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ③支台築造の意義、種類及び特徴を説明できる。 ⑤クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 ⑨研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。 ⑩クラウンブリッジの装着方法を説明できる。 ⑫クラウンブリッジの維持管理の目的と方法を説明できる。 ⑬クラウンブリッジ装着後のメンテナンスの重要性を説明できる。</p>	<p>*小見山 道 *飯田 崇</p>
2023/11/22 (水) 2時限 10:40～12:10	医療行動科学4の英語	<p>【授業の一般目標】 歯科医学英語を理解するために、医療行動科学4に関わる英単語を学修し、関連する英語情報に対する読解力を身につける。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 医療行動科学4に関する専門用語についての英単語を説明できる。 2. 医療行動科学4に関する専門用語についての英語の解説文を説明できる。 3. ※歯科医師の実務経験を活かし、歯科医学の総合的知識を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：医療行動科学4で学んだ専門用語の英単語を調べておく。 事前学修時間：30分 事後学修項目：授業で提示された英単語・文章を復習する。 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 12 一般教養的事項 ウ 歯科医療に必要な基本的医学英語</p>	<p>*多田 充裕</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2023/11/22 (水) 2時限 10:40～12:10	医療行動科学4の英語	<p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 A-4-2) 患者と歯科医師の関係 ③患者の心理的・社会的背景や自立した生活を送るための課題を把握し、抱える問題点を抽出・整理できる。 ④医療行為は患者と歯科医師との高度な信頼関係を基礎とする契約に基づいていることを説明できる。</p>	*多田 充裕
2023/11/29 (水) 2時限 10:40～12:10	栄養学の英語	<p>【授業の一般目標】 歯科医学英語を理解するために、栄養学に関わる英単語を学修し、関連する英語情報に対する読解力を身につける。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 栄養学に関する専門用語についての英単語を説明できる。 2. 栄養学に関する専門用語についての英語の解説文を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：栄養学で学んだ専門用語の英単語を調べておく。 事前学修時間：30分 事後学修項目：授業で提示された英単語・文章を復習する。 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 12 一般教養的事項 ウ 歯科医療に必要な基本的医学英語</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ③栄養と食育を説明できる。 E 臨床歯学 E-5 高齢者、障害者、精神・心身医学的疾患 E-5-1) 高齢者の歯科治療 ⑩栄養管理や食形態の調整を説明できる。</p>	吉垣 純子
2023/12/06 (水) 2時限 10:40～12:10	社会歯科学の英語	<p>【授業の一般目標】 歯科医学英語を理解するために、社会歯科学に関わる英単語を学修し、関連する英語情報を読む力を身につける。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 社会歯科学に関する専門用語についての英単語を説明できる。 2. 社会歯科学に関する専門用語についての英語の解説文を説明できる。 3. ※歯科医師の実務経験を活かし、歯科医学の総合的知識を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：社会歯科学で学んだ英単語の意味を調べておく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し・スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 12 一般教養的事項 ウ 歯科医療に必要な基本的医学英語</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-1) 医の倫理と生命倫理 ①医の倫理と生命倫理の歴史経過と諸問題を概説できる。 ②医の倫理に関する規範・国際規範 (ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、ヘルシンキ宣言等) を概説できる。 ③臨床 (生と死に関わる問題を含む) に関する倫理的問題を説明できる。 ④医学研究に関する倫理的問題を説明できる。 ⑥研究を、医学・医療の発展や患者の利益の増進を目的として行うよう配慮できる。</p>	*有川 量崇 *鈴木 到
2023/12/13 (水) 2時限 10:40～12:10	総合医学(臨床検査医学)の英語	<p>【授業の一般目標】 歯科医学英語を理解するために、総合医学(臨床検査医学)に関わる英単語を学修し、関連する英語情報を読む力を身につける。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p>	*深津 晶 *續橋 治 *小峯 千明

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2023/12/13 (水) 2時限 10:40～12:10	総合医学(臨床検査医学)の英語	<p>1. 臨床検査医学に関する専門用語についての英単語を説明できる。 2. 臨床検査医学に関する専門用語についての英語の解説文を説明できる。 3. ※歯科医師の実務経験を活かし、歯科医学の総合的知識を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：臨床検査医学で学んだ英単語の意味を調べておく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し・スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 一般教養的事項 ウ 歯科医療に必要な基本的医学英語</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (3) 炎症 ③炎症の診断に必要な検査法を説明できる。 E-2-4) - (10) 口腔・顎顔面領域に症状を現す疾患 ①口腔・顎顔面領域に症状を現す血液疾患（貧血、出血性素因、白血病）とスクリーニング検査法を説明できる。 ⑩ヒト免疫不全ウイルス(human immunodeficiency virus <HIV>)感染症と後天性免疫不全症候群(acquired immune deficiency syndrome <AIDS>)の口腔症状と検査法を説明できる。</p>	*深津 晶 *續橋 治 *小峯 千明
2023/12/20 (水) 2時限 10:40～12:10	歯科麻酔学の英語	<p>【授業の一般目標】 歯科医学英語を理解するために、歯科麻酔学に関わる英単語を学修し、関連する英語情報を読む力を身につける。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯科麻酔学に関する専門用語についての英単語を説明できる。 2. 歯科麻酔学に関する専門用語についての英語の解説文を説明できる。 3. ※歯科医師の実務経験を活かし、歯科医学の総合的知識を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：歯科麻酔学で学んだ英単語の意味を調べておく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し・スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 一般教養的事項 ウ 歯科医療に必要な基本的医学英語</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-4) 歯科医療に必要な麻酔と全身管理 E-1-4) - (1) 全身管理 ①バイタルサインの意義とそのモニタリングの方法を説明できる。 E-1-4) - (2) 精神鎮静法 ①精神鎮静法の特徴と目的及び種類を説明できる。 E-1-4) - (3) 局所麻酔法 ①局所麻酔の特徴と目的及び種類を説明できる。 E-1-4) - (4) 全身麻酔法 ①全身麻酔の概念、種類並びに麻酔時の生体反応を説明できる。</p>	*山口 秀紀 *下坂 典立
2024/01/10 (水) 2時限 10:40～12:10	小児歯科学の英語	<p>【授業の一般目標】 歯科医学英語を理解するために、小児歯科学に関わる英単語を学修し、関連する英語情報を読む力を身につける。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 小児歯科学に関する専門用語についての英単語を説明できる。 2. 小児歯科学に関する専門用語についての英語の解説文を説明できる。 3. ※歯科医師の実務経験を活かし、歯科医学の総合的知識を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：歯科麻酔学で学んだ英単語の意味を調べておく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し・スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p>	*清水 武彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2024/01/10 (水) 2時限 10:40～12:10	小児歯科学の英語	<p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 12 一般教養の事項 ウ 歯科医療に必要な基本的医学英語</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-4 矯正歯科・小児歯科治療 E-4-2) 小児の歯科治療 ①乳歯と幼若永久歯の齲蝕の特徴と予防法を説明できる。 ②乳歯と幼若永久歯の齲蝕の診察、検査と診断を説明できる。 ③乳歯と幼若永久歯の歯冠修復の目的、種類、適応症、手順及び留意点を説明できる。 ④乳歯と根末完成永久歯の歯髄・根尖性歯周疾患の診察、検査と診断を説明できる。 ⑤乳歯と根末完成永久歯の歯髄・根尖性歯周疾患の処置法の種類、適応症、手順、留意点及び予後を説明できる。 ⑥小児に見られる歯周疾患の特徴と対応を説明できる。 ⑦小児の歯の外傷・粘膜疾患の診察、検査、診断及び、処置法及び予後を説明できる。 ⑧咬合誘導の概念を説明できる。 ⑨保険処置の目的、種類、適応症及び留意点並びに保険装置の設計について説明できる。 ⑩小児患者の対応を説明できる。</p>	*清水 武彦
2024/01/17 (水) 2時限 10:40～12:10	平常試験②、解説	<p>【授業の一般目標】 歯科医学英語を理解するために、臨床歯科医学に関連する英語情報に対する読解力を身につける。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. クラウンブリッジ補綴学に関する専門用語についての英単語、解説文を説明できる。 2. 医療行動科学4に関する専門用語についての英単語、解説文を説明できる。 3. 栄養学に関する専門用語についての英単語、解説文を説明できる。 4. 社会歯科学に関する専門用語についての英単語、解説文を説明できる。 5. 総合医学(臨床検査医学)に関する専門用語についての英単語、解説文を説明できる。 6. 歯科麻酔学に関する専門用語についての英単語、解説文を説明できる。 7. 小児歯科学に関する専門用語についての英単語、解説文を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：これまで(第9～15回で)学修してきた講義項目について英単語リストおよび英文について復習する。 事前学修時間：3時間 事後学修項目：試験内容を復習する。 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：試験問題用紙配布</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p>	*宇都宮 忠彦 *小見山 道 *飯田 崇 *多田 充裕 *吉垣 純子 *有川 量崇 *鈴木 到 *深津 晶 *續橋 治 *小峯 千明 *清水 武彦 *下坂 典立